

能

阿漕

あこぎ

山本博通

狂言

寝音曲

茂山千之丞

仕舞

清経

山本麗晃

野宮

山本章弘

令和8年9月5日(土) 13時開演 (12時開場)

9月のたにまち能

能

班女

はんじょ

今村一夫

会場／国登録有形文化財 山本能楽堂

入場券 一般券 5,500円 学生券 3,000円 綴り割引券(3回分) 15,000円

ご予約・お問い合わせ TEL 06-6943-9454 E-mail ticket@noh-theater.com

主催／公益財団法人 山本能楽堂

公式ホームページ <https://www.noh-theater.com>



13時始

能 「班女」

前シテ(遊女 花子) 今村 一夫
 後シテ(〃) 〃
 ワキ(吉田少将) 廣谷 和夫
 ワキツレ(従者) 喜多 雅人
 〃 佐々木 秀
 アイ(野上宿の長者) 茂山 逸平

笛 貞光 智宣
 小鼓 吉阪 倫平
 大鼓 山本 哲也

後見 山本 博通
 今村 宮子

地謡 山本 章弘
 吉井 基晴
 井戸 良祐
 河村浩太郎
 山本 麗晃
 山下あさの

美濃国(現在の岐阜県)野上の宿の遊女花子(シテ)は、東国に下る途中で野上の宿に立ち寄った吉田の少将(ワキ)と契りを交わし、お互いの扇を取り交わして別れました。その後、花子は少将恋しさに扇ばかりを眺めて暮らし、人々から「班女」と呼ばれるようになったのでした。

宿の長(アイ)は他の客を取ろうともしない花子を迷惑がり、宿から追い出してしまいます。

その後、吉田の少将は東国から都へ帰る道中で再び野上の宿に立ち寄り、花子を探ねるのですが、すでに花子は宿を出ており、会うことは叶わず、吉田の少将は言伝を残して都へと帰っていきます。

都に帰った少将は、祈願のために上京の糺の森(下鴨神社)へ参詣します。一方で、狂女の姿になった花子も少将に再会できるよう神や仏に祈るうち、糺の森にたどり着いていたのでした。花子が、我が身の寂しさを嘆いて舞っていると、少将がその姿を見咎めます。そして、花子が持っている扇のことを尋ねます。花子は、なぜこの扇のことを尋ねるのか不思議に思いながらも、交わす言葉の中に、目の前にいる人こそが待ち人だと確信します。少将と花子は再び互いの扇を取り交わし、めでたく再会を果たすのでした。

休憩15分

狂言 「寝音曲」

シテ(太郎冠者) 茂山千之丞
 アド(主人) 茂山 宗彦

後見 増田 浩紀

たまたま太郎冠者の家の前を通りかかった主人は、太郎冠者の上手な謡を耳にします。翌日主人は早速自分の前で謡を謡うように命じます。しかし太郎冠者は今後たびたび謡わされてはたまったものではありません。そこで、まず酒を飲まなければ謡えないと嘘をつきます。どうしても謡を聞きたい主人は酒を飲ませます。すると次は妻の膝枕でなければ声が出ないというので、今度は自分の膝を貸してやります。太郎冠者は仕方がないので、しぶしぶ謡いはじめますが、酒が回ってだんだん上機嫌になってきて..

仕舞 「清経」 山本 麗晃 「野宮」 山本 章弘

地謡 吉井 基晴 山田 薫 笠田 祐樹 前田 和子

休憩10分

能 「阿漕」

前シテ(漁翁) 山本 博通
 後シテ(阿漕の霊) 〃
 ワキ(男) 福王 知登
 アイ(浦人) 鈴木 実

笛 赤井 啓三
 小鼓 吉阪 一郎
 大鼓 山本 寿弥
 太鼓 中田 弘美

後見 森本 哲郎
 今村 一夫

地謡 杉浦 豊彦
 井戸 良祐
 河村浩太郎
 山田 薫
 笠田 祐樹
 前田 和子

九州日向国の旅人(ワキ)は伊勢神宮に参詣しようと、船旅で伊勢の海までやってきます。そこに一人の漁師の老人(前シテ)が現れ、この浦が古歌にも詠まれた阿漕浦であると教えます。さらに老人は、昔、阿漕という漁師が禁密区で魚を取ったことが露見して殺され、この浦に沈められたこと、阿漕の霊は死後も罪の報いで苦しんでいることを語り、弔いを頼みます。そして、老人は自分が阿漕の亡霊であることをほのめかし、にわかに吹き荒れた風の中、姿を消してしまいます。

そこに、この浦に住む男(アイ)がやって来ます。旅人は男から阿漕の物語を聞くと、阿漕を弔うことにします。

旅人が読経をしていると、地獄の呵責に苦しむ阿漕の霊(後シテ)が現れます。死してなお漁への執心を捨てきれず、殺生を続ける阿漕。地獄の猛火が体を焼き、魚は悪魚毒蛇となって襲いかかってくる壮絶な地獄の苦しみに、阿漕は「助けてくれ」と声を上げながら波の底に沈んで行くのでした。

終了予定 17時過頃

※公演の無断撮影・録音・録画は当能楽堂の著作権、演者の肖像権等を侵害するおそれがありますので、固くお断りします。

チケットのご予約・お問い合わせ

TEL 06-6943-9454 (平日10時~17時、土日祝休み)

山本能楽堂公式ホームページ

noh-theater.com



主催:公益財団法人 山本能楽堂

特別協力:岩谷産業株式会社 一般財団法人 住野勇財団 株式会社タブチ
 中西金属工業株式会社 株式会社ファルコホールディングス
 細川悦男 森下仁丹株式会社 株式会社ユニオン(50音順)

令和9年の たにまち能

1月10日(日)・4月3日(土)・9月5日(日)

各日ともに 13時開演

国登録有形文化財

山本能楽堂

大阪市中央区徳井町1-3-6



大阪メトロ谷町線・中央線「谷町四丁目駅」4番出口より本町通に沿って西へ。
 1筋目(ジャンボ酒場)手前を右折。1筋目を左折してすぐ左手。徒歩5分。

100th
 山本能楽堂
 Since 1927